



国民春闘共闘

2022年度 第35号

2022年7月11日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

22 国民春闘賃上げ第8回（最終）集計

単純平均 5,960 円・2.06%、加重 5,655 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は、今年度最後となる第8回賃上げ集計を7月7日に行いました。

<回答状況>

	2022年	2021年実績
回答引き出し組合	1,351	1,155
うち 有額回答	885(65.5%)	760(65.8%)
うち「定昇確保」など言葉による回答	466(34.5%)	395(34.2%)
うち 2次回答以上の回答	146(10.8%)	160(13.9%)
うち 妥結組合	668(49.4%)	620(53.7%)

<要求と回答内容>

		2022年要求	2022年回答	2021年実績	実績比
単純平均	額(円)	25,436	5,960	4,886	1,074
	率(%)	7.34	2.06	1.84	0.22
加重平均	額(円)		5,655	5,696	-41
	率(%)		2.02	1.93	0.09
	組合員数		99,475	71,972	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	うち前年実績以上	22年回答	21年実績	実績比
単純平均	額(円)	576	413(71.7%)	5,370	4,870	500
	率(%)	328	212(64.6%)	2.08	1.89	0.19

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	額(円)	23.2 (18.2)	3,800 (2,546)	31.6 (18.9)	3,828 (2,936)
	率(%)	2.67 (1.37)	1.66 (1.07)	2.24 (2.07)	2.73 (1.00)

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇確保」など言葉による回答は平均などの計算から除いています。

※非正規の仲間の回答状況のかっこ（）内は、21年最終集約結果

〈集計結果の概要〉

回答引出し・妥結状況

7月7日の第8回集計には、次ページの別表の31単産・部会から報告が寄せられました。昨年の回答引き出し組合数を大きく上回る1,351組合が何らかの回答を引き出し、そのうち「定昇確保」などの言葉による回答を得た組合が466組合(34.5%)で、金額もしくは、率などが明らかになっている有額回答を得た組合は885組合(65.5%)となっています。146組合が2次回答以上の回答を引き出し、668組合が妥結(妥結率49.4%)となっています。

回答内容

有額回答を引き出した885組合での単純平均(一組合あたりの平均)は5,960円・2.06%で、前年最終(2022年7月8日・4,886円・1.84%)から1,074円・0.22%増となっています。加重平均(組合員一人あたりの平均)は5,655円・2.02%で、前年同期(5,696円・1.93%)か41円減・0.09%増となっています。(額のみ・率のみの報告を含んでいるため、金額と賃上げ率の増減は連動せず)

また、同一組合で昨年実績との対比が可能な576組合の単純平均額を前年実績と比べると、今期は5,370円で、前年実績(4,870円)を500円上回っています。賃上げ率でも328組合の単純平均で、2.08%と前年実績(1.89%)を0.19%上回っています。前年実績以上の回答を引き出した組合は、金額では413組合(71.7%)、率では212組合(64.6%)となっています。

産業別では、介護・保育・障害福祉などの「社会福祉・介護」で前年実績を4000円以上、上回る8,036円となるなど、ケア労働者の大幅賃上げアクションに取り組んだ成果がはっきりする結果となっています。

非正規で働くなかまの賃上げ状況

非正規で働く仲間の賃上げ状況については、11単産231組合から398件の成果獲得の報告が寄せられています。

時給制労働者では283件の獲得報告が寄せられています。そのうち引き上げ額がわかっている186件の単純平均は23.2円となっています。率では2.67%となり、正規労働者の改定率を上回る成果獲得となっています。

月給制では、78件の獲得報告が寄せられています。引き上げ額では3,800円、率では1.66%となっています。

再雇用者の賃上げ状況については、時給制24件、月給制12件の獲得報告で、引き上げ額・率では時給制で31.6円・2.24%、月給制で3,828円・2.73%となっています。

企業内最賃協定の改定状況

企業内最賃協定の獲得状況では、全農協労連、建交労、JMITU、化学一般、生協労連、全印総連、民放労連、出版労連、日本医労連の79組合から157件の獲得報告となっています。

時間額では、82件の報告で、新協定額の単純平均は1,046円、引き上げは29.7円となっています。日額は14件の獲得で新協定額は7,960円、月額では25件の獲得で新協定額は159,935

円となっています。

職種別では、建交労のトラック、日本医労連の看護師とヘルパー、生協労連からヘルパーの報告が寄せられています。

進ちょく状況

第8回賃上げ集計に併せて、要求提出状況・ストライキ権の確立、実施状況などについて調査する第4回進ちょく状況調査を実施しました。別表「22春闘 進ちょく状況調査・第4回（最終）集約報告」に記載の20単産2,661組合（交渉単位）分の報告が寄せられました。61.0%にあたる1,622組合が要求書を提出しています。また、要求提出組合の84.3%にあたる1,368組合で回答を引き出しています。

スト権の確立状況では、1,310組合がスト権を確立しており、確立状況を調査中の1単産を除く2,627組合に対して、49.3%の確立状況となっています。とりわけ、建交労、JMITU 通信産業本部、検数労連、全損保、郵政ユニオンが100%の確立状況となっています。ストライキの実施状況では、126組合から169回のスト実施報告が寄せられています。

<参考>他団体の回答状況

●連合の第7回（最終）回答集計（平均賃上げ方式・7月1日公表）は以下のとおりです。

集計対象	集計組合		加重平均			
	組合数	人数(万)	金額	率	昨年	率
全組合	4,944	271.0	6,004	2.07	5,180	1.78
中小共闘	3,596	34.0	4,843	1.96	4,288	1.73

※単純平均は公表されていません。中小共闘は、規模300人未満。

●日本経団連の春季労使交渉回答状況調査結果は以下のとおりです。

集計対象	社数	単純平均				加重平均			
		金額	率	昨年	率	金額	率	昨年	率
大手	81	7,163	2.24	5,722	1.80	7,430	2.27	5,544	1.70
中小	249	4,992	1.94	4,263	1.69	5,219	1.97	4,444	1.72

※大手企業：原則として従業員数500人以上、主要21業種大手252社（5/20発表）

※中小企業：従業員数500人未満の17業種754社（6/10発表）